



—東地中海地域ニュース—

シリア：ダマスカス大学およびアレッポ大学でのデモ

(14日付現地各紙)

1. ダマスカス大学

13日午後、約30名の学生がダマスカス大学イスラム法学部構内に集合し、殉教者、自由への叫びを上げたところ、シリアの安全と安定を乱し、混乱の拒否を強調する愛国的スローガンを繰り返す数百人の学生が集合した。このため、両者間で小競り合いが起こり、約1時間後に終了した。ダマスカス大学筋は、法学部でデモを行った学生のほとんどは、2日前に理学部で行われたデモの参加者であったと述べた。

2. アレッポ大学

アレッポ大学考古学部で、学生と学長が学生の問題について議論するために面会している最中に、約20名の学生が殉教者と自由への叫びを繰り返した。他方、そこにいた残りの学生は、国家の統一とシリアを標的とする陰謀の解明、大学の混乱を煽るために利用することの防止を呼びかけるスローガンを叫んだ。シリア国営通信社のアレッポ特派員によれば、学生は30分後に自ら解散した。

(1) 14日付アルアラビーヤ衛星放送による報道

13日、アレッポ大学構内で政権を批判する学生が出て、解散させるため治安部隊が介入した。また学生は政治改革、自由を訴え、ダラアとの連帯を訴えた。バアス党分子が「魂と血をダラアに捧げる」と叫ぶ学生たちを即座に解散させた。また活動家によると、ダマスカス市内でもデモが行われたようである。

(2) 13日付AFP電による報道

アレッポ大学文学部でデモが行われ、学生と警察の衝突後、4名が逮捕された。またダマスカス大学法学部では、50名がデモを行った。